



自治・文化・経済部会資料

## 施策4-8-3 音楽や映像のまちづくりの推進

市民文化局  
令和2年7月

### 資料をご覧ください。上での注意事項

掲載している数値等は、7月1日（令和2年度川崎市政策評価審査委員会第3部会の開催日）時点のものであり、今後、修正・変更になる可能性があります。

# 施策の概要

概要 背景 取組 成果 まとめ

**基本政策(1層)** 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

**政策(2層)** スポーツ・文化芸術を振興する

**施策(3層)** 音楽や映像のまちづくりの推進

**直接目標** 音楽や映像を活用して、都市の魅力向上や地域の活性化につなげる

## 主な事務事業

- ・ 音楽のまちづくり推進事業
- ・ 川崎シンフォニーホール管理運営事業
- ・ 映像のまち・かわさき推進事業

# 実施計画に位置付けた成果指標

概要 背景 取組 成果 まとめ

成果指標① 「音楽のまち」の環境が充実していると感じる人の割合									
算出方法	市民アンケート(無作為抽出3,000人)の「音楽のまち」の環境が充実していると感じる人(そう思う+やや思う)の割合								
指標の考え方	音楽を活用して都市の魅力向上や地域の活性化につなげるため、多様な主体と連携しながら、音楽に関するイベントの振興等を図り、音楽を楽しめる環境づくりを進めており、そうした環境の充実に対する市民意識の割合の推移を見ることで、その取組の成果を図ることができる。								
指標の目標値	<table border="1"><thead><tr><th>第1期策定時</th><th>第1期目標</th><th>第2期目標</th><th>第3期目標</th></tr></thead><tbody><tr><td>53.3%(H27)</td><td>55%以上(H29)</td><td>57%以上(R3)</td><td>60%以上(R7)</td></tr></tbody></table>	第1期策定時	第1期目標	第2期目標	第3期目標	53.3%(H27)	55%以上(H29)	57%以上(R3)	60%以上(R7)
第1期策定時	第1期目標	第2期目標	第3期目標						
53.3%(H27)	55%以上(H29)	57%以上(R3)	60%以上(R7)						
目標値の考え方	H27(2015)に実施した市民アンケートに基づき、全国の政令指定都市上位をめざし、目標値を設定する。								

# 実施計画に位置付けた成果指標

成果指標②		ミュージザ川崎シンフォニーホール主催・共催公演の入場者率			
算出方法	主催・共催公演の入場者数(89,159人)／主催・共催公演の入場者定員数(120,206人)×100(%) ※R1年度実績				
指標の考え方	音楽を活用して都市の魅力向上や地域の活性化を図るため、音楽によるまちづくりの中核的施設であるミュージザ川崎シンフォニーホールの魅力を発信するための公演内容等の充実等を図っており、その主催・共催公演の入場者率を見ることで、その取組の成果を図ることができる。				
指標の目標値	第1期策定時 72%(H26)	第1期目標 73%以上(H29)	第2期目標 74%以上(R3)	第3期目標 75%以上(R7)	
目標値の考え方	計画策定時における過去5年間(東日本大震災による休館期間を除く)のミュージザ川崎シンフォニーホールの入場者率は、リニューアルオープン(H25〔2013〕)の年度以外は70%から73%で推移していることから、最高値(73%)を起点として、目標値を設定する。				

# 実施計画に位置付けた成果指標

成果指標③ 「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合									
算出方法	市民アンケート(無作為抽出3,000人)の「映像のまち」の取組を知っていて、その取組を評価できると回答した人の割合								
指標の考え方	映像に関するイベントの振興等を図ることによって、映像を通じた地域活性化につなげる取組等を推進しており、こうした「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合の推移を見ることで、その取組の成果を図ることができる。								
指標の目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>第1期策定時</th> <th>第1期目標</th> <th>第2期目標</th> <th>第3期目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18.4%(H27)</td> <td>20%以上(H29)</td> <td>25%以上(R3)</td> <td>30%以上(R7)</td> </tr> </tbody> </table>	第1期策定時	第1期目標	第2期目標	第3期目標	18.4%(H27)	20%以上(H29)	25%以上(R3)	30%以上(R7)
第1期策定時	第1期目標	第2期目標	第3期目標						
18.4%(H27)	20%以上(H29)	25%以上(R3)	30%以上(R7)						
目標値の考え方	H27(2015)に実施した市民アンケートに基づき、全国の政令指定都市トップをめざし、目標値を設定する。								



# 市内の文化関連施設

- 市内には音楽ホールや劇場・美術館・博物館など、市民の文化芸術活動や川崎の魅力発信の拠点となる施設が多数存在し、様々な主体と連携しながら、取組を進めている。



# 音楽を活用したまちづくり(音楽のまち・かわさき)

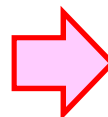
概要 背景 取組 成果 まとめ



世界最高峰の音響を誇る  
ミュージザ川崎シンフォ  
ニーホール



ミュージザを拠点に活動する  
東京交響楽団



## かわさきジャズ

- ・音楽大学、地域の音楽団体、企業などと行政が連携して開催

市内の音楽資源を結び  
連携することによる  
広がりや効果の拡大



洗足学園音楽  
大学



ストリートミュージシャン



4つの市民オーケストラ  
150を超える合唱団

## 様々な音楽資源との連携

- ・東京交響楽団による子供のためのオーケストラ
- ・音大生による市内中学生への指導
- ・地域の音楽団体の学校への派遣
- ・カワサキストリートミュージックバトル
- ・街なかライブ ほか





# 音楽のまちづくり推進事業

概要 背景 取組 成果 まとめ

- 市民の豊かな心を育み、まちに音楽があふれる活力ある地域社会づくりの推進
- 多様な活動団体等と協働・連携しながら、誰もが身近に音楽を楽しめる環境づくりの推進

## ■ 運営実績

○「音楽のまち・かわさき」推進協議会等からの市内音楽情報の発信

(ホームページでのイベント情報掲載、テレビ神奈川、かわさきFMとの連携による番組作成、ミュージックプチマガジンの発行など)

○多様な団体と連携・協働し、幅広い世代の市民が身近に音楽を楽しめる音楽イベントの開催

### ◎アジア交流音楽祭(4月)

中国・タイ・モンゴルなどアジア諸国の民族音楽・舞踊等のフリーイベントを川崎駅周辺9か所で開催。「アジアンフェスタ」と同日開催。

入場者数 H30:80,000人、R1:80,000人



### ◎かわさきジャズ(9~11月)

「川崎らしさ」にこだわり、ホールでの音楽公演や、街中でのフリーライブなど約150ステージを市内各所で開催。

入場者数 H30:57,356人、R1:55,256人



### ◎プラチナ音楽祭(9月)

500人を超える60歳以上のシニア世代がミュージザ川崎シンフォニーホールで日頃の練習の成果を披露。

入場者数 H30:1,900人、R1:1,354人

### ◎姉妹都市との交流コンサート

本市の姉妹・友好都市との音楽による文化交流を目的としたコンサートなどを開催。

H30:ウーロンゴン市(30周年)

R1:ボルチモア市(40周年)



ボルチモア市との姉妹都市提携40周年記念交流コンサート(R1)

## 「音楽のまち・かわさき」推進協議会

川崎市では市制80周年のH16年にミュージザ川崎シンフォニーホールの開設を機に「音楽のまちづくり」事業がスタートし、市とともに事業を進めていく「音楽のまち・かわさき」推進協議会が発足しました。

市内の音楽資源や人材を積極的に活用し、イベント等による人材育成の場の創出や、音楽イベントの実施・協力、各種媒体を通じた効果的な情報発信など、様々な事業を行っています。



# 川崎シンフォニーホール管理運営事業

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 「音楽のまち・かわさき」の中核施設として、市民に良質で魅力ある公演を鑑賞する機会を提供
- 市内の豊富な音楽資源を活用し、幅広い世代の市民が音楽を通じて、川崎に愛着と誇りが持てる取組を実施

## ■ 運営実績

- 東京交響楽団や海外一流オーケストラによる公演などを行い、市民に良質で魅力ある公演を提供
- 世界的指揮者サイモン・ラトル氏が「世界最高のホールのひとつ」と絶賛するなど海外からも高い評価
- 首都圏のオーケストラが集結するフェスタサマーミュージアは、例年約3万人が来場



東京交響楽団



ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団  
と世界的指揮者のサイモン・ラトル氏



フェスタサマーミュージア

# 映像のまち・かわさき推進事業

概要 / 背景 / **取組** / 成果 / まとめ

- 映像のまち・かわさき推進事業では、映画の単科大学や4つのシネコンなど、市内にある映像資源を活用して、企業や団体等と連携した様々な取組を行い、地域活性化、シティプロモーションの推進、シビックプライドの醸成を図る取組を実施

## 「映像のまち・かわさき」推進フォーラムの取組

### ■ 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム



映像関連活動を支援するため、映像関連に限らず多様な主体が参加して構成

#### ◎ 情報発信収集事業

- ・ホームページ運営
- ・パンフレット発行

#### ◎ 人材育成事業

- ・映像制作支援  
小中学校や地域で行う映像制作活動への講師派遣 (H30 10件、R1 10件)
- ・人材データベースの作成  
市内の映像制作会社、レンタル会社、車両会社など映像関連団体を一覧化

#### ◎ 地域連携・活性化事業

- ・「映像のまち・かわさき」フェスティバル  
H30「カンヌ国際映画祭パレルムドール展」  
R1「みらい体験してみよう～新しい映像技術が暮らしを変える？」

## ロケ地川崎の推進



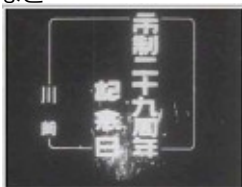
- ・ロケ相談窓口の設置、市内ロケ地の案内
- ・ロケ実績と観光資源をセットにしたPR

ロケ相談件数  
H30 441件  
R1 695件  
ロケ地巡リツアー  
H30 42人  
R1 16人



## 川崎市映像アーカイブ

- ・市政ニュース映画などをホームページで公開
- ・アーカイブ上映会やワークショップの実施  
幸市民館誰でもカフェ (H30)「川崎の今昔を語る夕べ」(R1)など



## KAWASAKIしんゆり映画祭

- ・地域のNPO法人主催の映画祭を支援
- ・保育、音声ガイドなどバリアフリープログラム  
来場者 H30 2,530人 R1 2,477人



## 毎日映画コンクール表彰式開催支援

- ・川崎で開催される表彰式等の広報支援 →令和元年度で終了



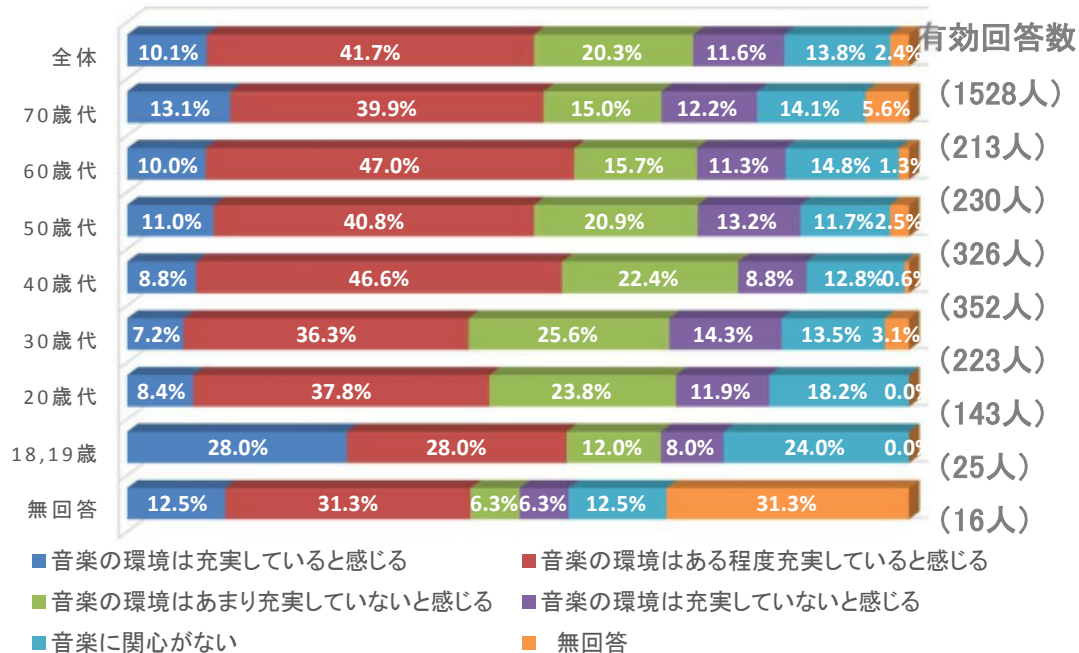
# 成果指標①の達成状況(目標未達成)

## 「音楽のまち」の環境が充実していると感じる人の割合

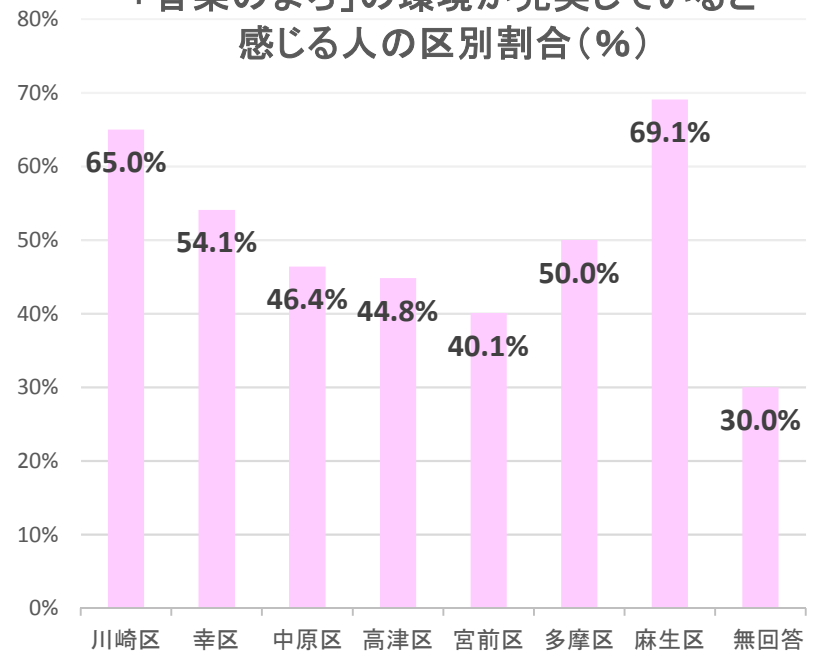
- 「音楽のまち」の実感度は目標値を4.2ポイント下回っています。年齢別に見ると、40歳代以上で比較的高い傾向にある一方で、20代・30代では低い状況となっています。また、区域別に見ると、麻生区、川崎区では割合が高く、目標値を上回っていますが、中原区、高津区、宮前区の中中部地域では割合が低い結果となりました。

	第1期 策定時 (H26)	H30	R1
目標		—	56.0%
実績	53.3%	—	51.8%

年齢別回答(%)



「音楽のまち」の環境が充実していると感じる人の区別割合(%)





# 成果指標①の成果分析

概要 背景 取組 成果 まとめ

## 「音楽のまち」の環境が充実していると感じる人の割合

- 「音楽のまち」の取組について、実感度が低かった20代、30代の市民への取組の一つとして、子育て世代をターゲットにした情報発信を「音楽のまち・かわさき」推進協議会と行います。また、実感度が低い区域においては、多様な音楽団体等と連携・協働しながら、誰もが音楽を身近に楽しめ、参加できる環境づくりに取り組みます。



こすぎコアパークでの街なかフリーライブ  
(かわさきジャズ)



商業施設での親子向けイベント  
「音あそび」(かわさきジャズ)



子育て世代に向けた冊子の作成と  
冊子を活用した音楽事業の実施

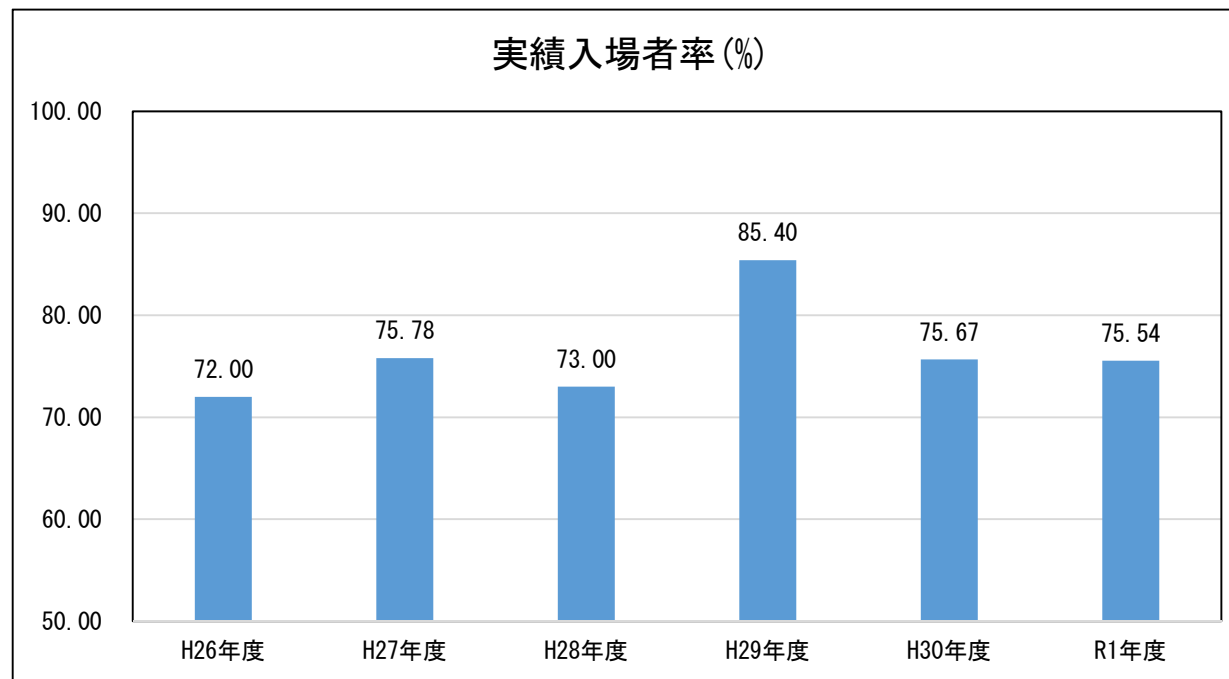


# 成果指標②の達成状況(目標達成)

## ミュージザ川崎シンフォニーホール主催・共催公演の入場者率

- ミュージザ川崎シンフォニーホール全体の取組は、ミュージザ川崎シンフォニーホールは、良質な公演の企画・開催、効果的・効率的な運営に取り組んだ結果、主催・共催公演の入場率は目標値を達成するなど、掲げた目標どおりに進捗しています。

	第1期策定時(H26)	H30	R1
目標		73.25%	73.5%
実績	72.4%	75.67%	75.54%



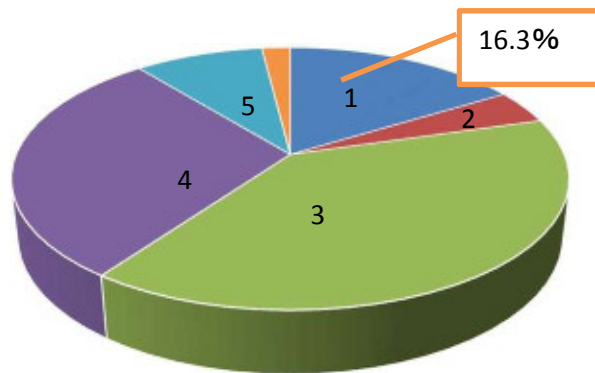
# 成果指標③の達成状況(目標未達成)

## 「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合

- 「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合では、計画策定時から漸増させる予定でしたが、目標を下回りました。これは、近年ロケ地川崎推進事業において、平成27年度の「シン・ゴジラ」のような川崎を舞台とした全国規模で有名な大きな映画のロケがなく、取組を知る機会が少なくなっていることが要因の一つと考えられます。

	第1期策定時(H27)	H30	R1
目標		—	22.5%
実績	18.4%	—	16.3%

映像のまちの取組について



- 1 市の取組を知っており、取組を評価できる
- 2 市の取組を知っているが、取組は評価できない
- 3 市の取組を知らないが、取組(ドラマ等の撮影の誘致など)は評価できる
- 4 市の取組を知らないし、評価もできない
- 5 関心がない
- 無回答

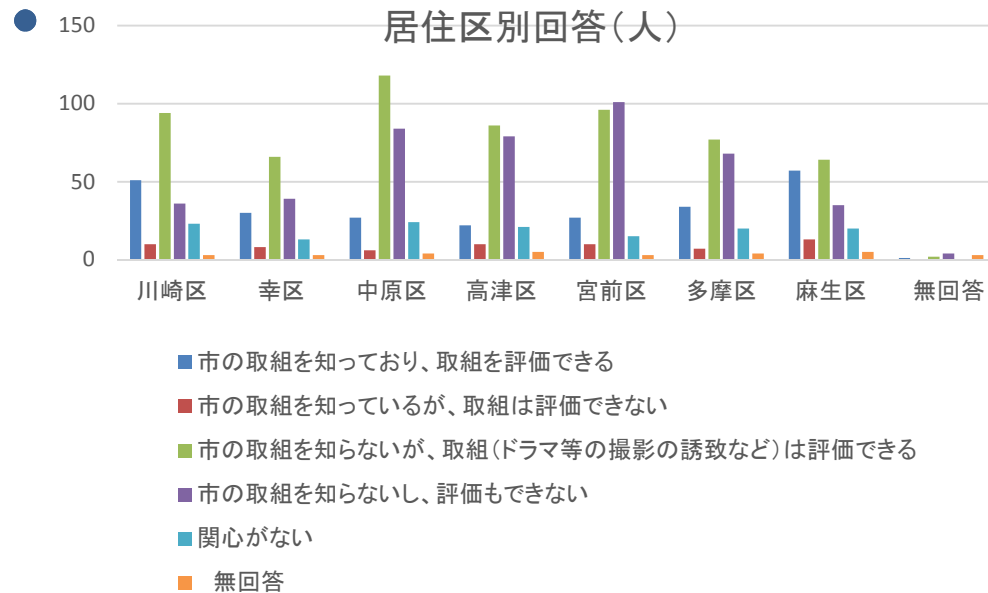
川崎市では、「映像のまち・かわさき」を掲げ、映画やドラマの撮影の誘致など、映像を通じた、まちの魅力向上や地域の活性化に取り組んでいます。こうした映像に関する市の取組について、あなたのご意見をお伺いします。

	全体						
	1 市の取組を知っており、取組を評価できる	2 市の取組を知っているが、取組は評価できない	3 市の取組を知らないが、取組(ドラマ等の撮影の誘致など)は評価できる	4 市の取組を知らないし、評価もできない	5 関心がない	無回答	
人数	1528	249	64	603	446	136	30
%	100.0	16.3	4.2	39.5	29.2	8.9	2.0

# 成果指標③の成果分析

## 「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合

- 回答を地域別に見ると、映画コンクール表彰式等映像イベント等の多い川崎区や、映画大学やアートセンター、映画祭を実施している麻生区では、「市の取組を知っており、評価できる」と回答した市民がそれぞれ23.5%、29.4%と高く、映像のまちづくりの取組自体は一定の評価を得ているものと考えますが、一方で、市の中部では割合が低い傾向にあります。なお、「市の取組を知らないが、取組(ドラマ等の撮影の誘致)は評価できる」と回答した人が、市中部も含め約4割いることから、今後は、イベントの実施など取組推進と併せて、市の取組自体を市民に知っていただけるよう周知に努める必要があります。



# その他成果(数値で把握できる補足指標)

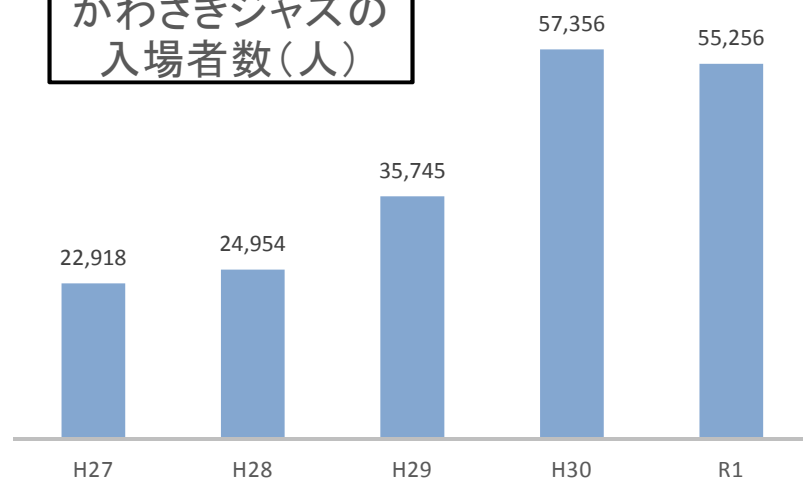
## ●かわさきジャズの入場者数

H27年から始まったかわさきジャズは、「ジャズは橋を架ける」を合言葉に、ジャズの初心者から達人まで、また様々な年代の方に楽しんでいただけるフェスティバルを目指し、市内7か所でのホール公演とともに、市民が活躍するフリーライブなどを、約2か月半という長期間にわたり開催しています。R元年年度は、東日本台風の影響により開催中止となったイベントがあり入場者数が昨年を下回りましたが、関係団体との連携強化により街なかでのコンサートを含め61会場154ステージを開催し、幅広い世代が楽しみ参加したことで、かわさきジャズ全体としてイベントの魅力が高まりました。

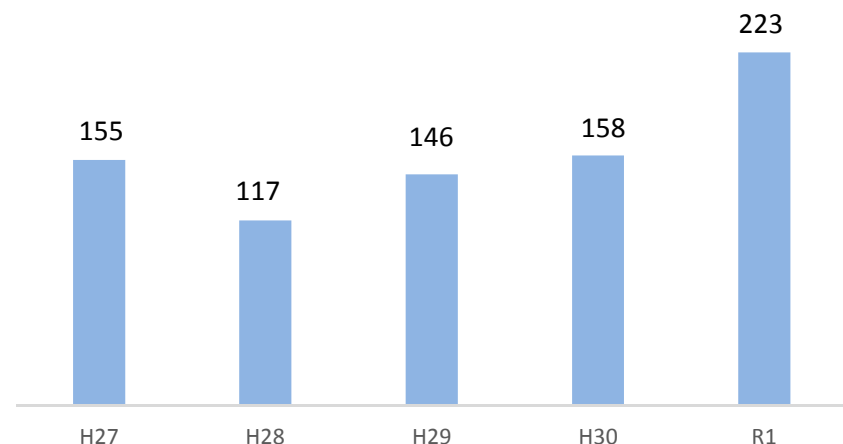
## ●市施設でのロケ件数

映像のまち・かわさき推進事業の重要な柱であるロケ地川崎推進事業は、首都圏に位置しながら臨海部から多摩川、生田緑地など多様性に富む地形に恵まれているという特性から、市内の施設や場所等が映画やドラマ等の多様なシーンのロケ地として活用されることで、本市の魅力を発信し、市内外からの集客や賑わいの創出など地域の活性化を目指すものです。市施設によるロケ件数は、人気の高かった市役所本庁舎でのロケが、建て替えのためにできなくなったことなどから、H28年度には一時減少しましたが、現在は、持ち直しの傾向にあります。

かわさきジャズの入場者数(人)



市施設ロケ件数(件)





# 施策の進捗状況

## 施策の進捗状況

**C 進捗は遅れている**(1期策定時を下回るものが多くあった)

### 理由

- ① 配下の事務事業は順調に進捗しているものの、2つの成果指標が目標を下回りました。
- ② 「「音楽のまち」の環境が充実していると感じる人の割合」及び「「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合」については目標値を下回りましたが、アジア交流音楽祭やかわさきジャズでは、関係団体等との連携強化により入場者数が目標数を上回り、また、市の施設でのロケ件数や映画祭の入場者数はほぼ目標どおりの実績となっています。
- ③ ミューザ川崎シンフォニーホール全体の取組は、主催・共催公演の入場率と入場者数いずれも目標値を達成するなど、掲げた目標どおりに進捗しています。

#### 【施策の進捗状況区分】

- A 順調に推移している(目標を達成した)、B 一定の進捗がある(目標未達成のものがあるが一定の進捗があった)  
C 進捗は遅れている(1期策定時を下回るものが多くあった)、D 進捗は大幅に遅れている(1期策定時を大幅に下回った)

# 施策の今後の方向性

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / **まとめ**

## 今後の方向性

### Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

#### 理由

- ① 成果指標のうち2つは目標値を達成できませんでしたが、目標未達成となった成果指標であるアンケート結果については、中長期的に取り組んでいく必要があるものと考えていることから、現在の事業構成や方向性は継続しながら、各事業において、指標の成果分析によって明らかになった課題等を踏まえ取組の改善を図っていきます。
- ② 音楽のまちの取組について、実感度が低かった20代・30代の市民に対する認知度向上に向け、子育て世代をターゲットにした情報発信を「音楽のまち・かわさき」推進協議会と行うとともに、実感度が低い区域においても、多様な音楽団体等と連携・協働しながら、誰もが音楽を身近に楽しめ、参加できる環境づくりに取り組めます。
- ③ 映像のまちの取組については市の取組自体の市民の認知度向上に向け、中部の地域を中心に、「映像のまち・かわさき」推進フォーラム等関係者と連携し、市民向け広報の工夫や、地域と連携した映像に親しむ機会の創出を進めます。また、映画等のロケ誘致については、事業者等への広報やきめ細かな情報提供に取り組めます。

#### 【今後の方向性区分】

I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)、Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

Ⅲ あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい)、Ⅳ 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)

# 新型コロナウイルス感染症を踏まえ、今後に向けて

概要 / 背景 / 取組 / 成果 / まとめ

- 新型コロナウイルスの感染防止のため、「新たな生活様式」の定着が求められる中、本施策における取組においても、本市行政運営方針、国・県・関係機関のガイドライン等を踏まえながら、「3つの密」が発生しない対策とともに、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」など基本的な感染防止策を講じ、適切に実施してまいります。

例として…ミュージア川崎シンフォニーホールでは、次のとおり感染症対策を実施しています  
(6月1日現在)

- 会場の入口及び施設内の必要な場所に手指消毒用の消毒液を設置する。
- ドアノブや手すり等、不特定多数が触れる場所の消毒を行うとともに、施設内における換気を定期的に行う。
- 人との接触を避け、可能な限り人と人との間隔を空けるよう、ホームページ、施設内の掲示物、ホール公演時のアナウンス等を通じて促す。
- 通常行っている、スタッフによる来場者への声掛けは、安全対策上必要な場合を除き、極力減らし、掲示や館内放送等で対応する。





Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市